

OpenAI Deep Research

了解しました。DeepIP の AI 特許アシスタントに関する以下の情報を日本語のレポート形式で調査します:

- 出資した投資家の詳細(誰が出資したか、背景など)
- 製品の仕組み(どのように AI が特許作成を支援するか、技術的特徴)
- 今後の計画(資金調達後の成長戦略、市場展開、開発ロードマップなど)

調査が完了しましたら、レポート形式でお届けしますので、しばらくお待ちください。

DeepIP 社の AI 特許アシスタント: シリーズ A 調達概要と今後の展開

シリーズ A ラウンドの出資者

ニューヨークとパリに拠点を置くスタートアップ DeepIP は、2025 年 3 月にシリーズ A ラウンドで約 1,500 万ドル(約 20 億円)の資金調達を実施しました ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))。このラウンドは AI 特化型ファンドの Resonance が主導し、Headline(大型言語モデル企業 Mistral AI への出資実績あり)、Serena Capital(データ分析企業 Dataiku への投資元)、そして欧州有数の VC である Balderton Capital が参加しました ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))。著名テック企業を支えてきた VC からの出資は、DeepIP の技術と市場性への高い期待を反映しています。

リード投資家 Resonance のパートナーである Maxime Le Dantec 氏は「DeepIP は 7 ヶ月で年次経常収益(ARR)7 桁に到達した、私が見た中で最速のスタートアップだ。これは特許実務者にもたらす生産性向上効果の大きさを示している。DeepIP は将来あらゆる知財法律事務所に欠かせない存在になるだろう」と述べ、創業者の前社(Kili Technology)から携わるチームへの信頼と、プロダクトの可能性に太鼓判を押しています ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))。また Headline のジェネラルパートナー Jonathan Userovici 氏も「AI が専門職全体を置き換えるのではなく、特定のタスクに統合され知的労働を迅速かつ効率化する好例が DeepIP だ。DeepIP は IP 弁護士を強力に補助し、一度使えば手放せないツールになっている。特許出願は科学技術の発展に不可欠だが、DeepIP はその現場に欠けていたピース

を提供している」と投資の意図を語っています ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))。このように主要投資家は、DeepIP の急速な成長実績と特許業務にもたらず価値に着目し、将来的な市場必須のプロダクトになるとの見通しで出資しています。

AI 特許アシスタント「DeepIP」の仕組み

DeepIP が提供する AI 特許アシスタントは、特許明細書の作成を支援するために開発された生成 AI 搭載のツールです。Microsoft Word に完全統合されたアドイン形式で動作し、ユーザーである特許弁護士・弁理士が日頃使用しているワードプロセス上でシームレスに AI 機能を利用できます ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))。この AI アシスタントは複数の AI モデルを組み合わせ動作しており、社外の大規模言語モデルと社内独自開発モデル、独自の特許データを統合することで高い性能と安定性を実現しています ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))。その結果、いわゆる「AI の幻覚(ハルシネーション)」と呼ばれる誤回答を極力減らしつつ、法的に精緻な文章を生成できるよう工夫されています ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))。さらに過去の特許出願書類を AI が分析・学習し、各弁理士やクライアント企業ごとの書式・文体の特徴を習得して反映できる点も特徴です ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))。特許文書は依頼企業によって好まれる表現や用語が異なるため、個々のスタイルに合わせてドラフトを作成できることは実務上大きな強みと言えます ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))。なお、特許出願内容といった機密情報を扱うため、DeepIP は**ゼロデータ保持方針**(ユーザーデータを一切蓄積しない)を採用し、GDPR (欧州一般データ保護規則) 準拠や SOC 2 Type II・ISO 27001 認証取得など、情報セキュリティとデータ機密保持にも注力しています ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))。こうした「信頼できる AI(Trusted AI)」設計により、大手企業や法律事務所でも安心して導入できる体制を整えています。

DeepIP 特許アシスタントの主な機能: 特許明細書や関連資料のドラフト作成において、DeepIP は以下のような支援機能を提供します。

- **文書の要約と専門用語の平易化:** 発明の説明や学術論文など長文の技術資料から要点を自動要約し、難解な専門用語を平易な表現に言い換えます ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。

- **新規性ポイントの抽出:** 発明の技術内容から従来になかった新規性のあるポイントを抽出して強調表示します ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。
- **ドラフトの抜け漏れチェック:** 下書き段階の特許明細書に記載漏れや論理の飛躍がないかをチェックし、見落としによる権利漏れを防ぎます ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。
- **クレーム(特許請求の範囲)提案:** 発明の要旨に基づき、特許クレームの書き方について代替案や異なる表現を AI が提案します ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。これにより弁理士はクレームの構成を複数検討し、最適な権利範囲を策定できます。

DeepIP の開発理念は「AI による人間の代替ではなく、専門家との協働」です。AI アシスタントはあくまで特許実務者を補助するコパイロット(副操縦士)的な位置付けで設計されており、最終的な創造・判断は人間が行うことを前提としています ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。実際のユーザーである特許法律事務所の弁理士や企業知財部の担当者からは、「ドラフト作成に要していた時間を半分近く削減でき、1 日あたり約 2 時間の業務短縮につながった」「定型的な作業の負担が減り、その分を戦略立案やクレーム検討といった創造的業務に充てられるようになった」といった声が上がっています ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#)) ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))。導入先では生産性向上による時間短縮だけでなく、内容の精度向上によって特許出願の品質(堅牢性・防御力)の向上も報告されています ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))。ターゲットユーザーである特許事務所や企業知財部門での採用も広がっており、米国の大手特許法律事務所 Schwegman Lundberg & Woessner など複数の法律事務所が DeepIP を活用しています。2024 年 5 月の正式ローンチ以降、このツールは既に 8,500 件以上の特許明細書ドラフト作成を支援しており、特許業界向け AI ツールとして異例の速度で実績を積み重ねています ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。

調達資金の使途と今後の計画

今回調達した資金は、DeepIP のさらなる事業拡大と製品強化のために活用される計画です。まず市場展開の面では、北米(ニューヨーク拠点)と欧州(パリ拠点)の双方

で営業・サポート体制を強化し、これら主要市場での顧客基盤拡大を図ります ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))。特に米国市場では、既に大手法律事務所での採用実績があることから、この資金をもとに現地チームを拡充し、より多くの法律事務所・企業への導入を推進していく見込みです。

製品開発においては、現在の AI アシスタントをより自律的にタスクを処理できるエージェント型 AI へと進化させることが目標として掲げられています ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))。これはユーザーの指示を待つツールから、一部の作業を主体的に代行できる AI への発展を意味します。同時に、生成 AI の知的能力(特許文献の理解・要約精度や最適なクレーム生成提案など)を一層高める新機能追加にも継続的に取り組みます ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))。実際、ドラフト支援に続く第二のプロダクトとして**「Patent Prosecution」(特許審査・中間処理の支援)機能も既に提供開始しており、特許出願後の特許庁とのやり取り(オフィスアクション対応)にも AI を活用し始めています ([Our investment in DeepIP, the AI co-pilot for IP professionals | by Maxime Le Dantec | Resonance | Mar, 2025 | Medium](#))。今後は特許業務のさらなる下流工程——例えば特許ポートフォリオの監視や他社特許の調査分析(先行技術文献調査)など——への展開も視野に入れており、将来的には発明の創出から出願・登録後の管理に至るまで、特許ライフサイクル全体を網羅する AI プラットフォーム**を構築する戦略です ([Our investment in DeepIP, the AI co-pilot for IP professionals | by Maxime Le Dantec | Resonance | Mar, 2025 | Medium](#))。このように製品ラインナップを拡充しつつ、ユーザーである特許専門家のワークフロー全般をカバーすることで、市場での存在感を一層高めていく狙いがあります。

さらに人材採用・組織強化の面でも、今回の資金を投入する計画です。DeepIP ではプロダクト開発チームを中心にエンジニアや AI 研究者、特許分野の専門知識を持つ人材の採用を進め、開発体制を拡大する方針を示しています ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck - Business Insider](#))。優秀な人材の確保により製品開発のスピードと品質を向上させるとともに、増加するユーザー企業へのサポート体制も整備していきます。投資家からも指摘があったように、DeepIP は正式提供からわずか数ヶ月で年商 100 万ドル規模に達するなど急成長を遂げています ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))。この成長曲線をさらに加速させるべく、調達資金を原動力として市場拡大・製品強化・組織拡大の三位一体となった成長戦略を実行していく計画です。こうした取り組みにより、DeepIP は「特許業務の在り方を AI で刷新する」というビジョンの実現に向けて一層前進するとみられます。

参考文献・情報源: 公式発表プレスリリース ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#)) ([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))、専門メディア記事 (Business Insider ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#)) ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#)))、Tech.eu ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#)) ([DeepIP nabs \\$15M to modernise patent filing for the AI age – Tech.eu](#))など)、投資会社 Resonance による発表 ([Our investment in DeepIP, the AI co-pilot for IP professionals | by Maxime Le Dantec | Resonance | Mar, 2025 | Medium](#)) ([Our investment in DeepIP, the AI co-pilot for IP professionals | by Maxime Le Dantec | Resonance | Mar, 2025 | Medium](#))。各種発言は関係者のインタビューやコメントに基づいています。([DeepIP Raises \\$15M to Revolutionize AI Patent Drafting](#))